

総社 2021.3
る Vol.09 No.02
Social

近畿大学総合社会学部紀要
Kindai Applied Sociology Review

近畿大学総合社会学部紀要

第9巻 第2号 2021

目 次

■原著論文

英語の擬音語表現の品詞とその起源

..... 西村香奈絵 1

英語学習者のエッセイに見られる過剰使用語

—事前準備ありと即興のエッセイにおける差異—

..... 松田紀子, 石井隆之, 岩田雅彦, 西美都子, 濱崎佳子, 林美登利 17

学校規模ポジティブ行動支援が教師のバーンアウトおよび効力感に及ぼす効果

..... 大対香奈子, 庭山和貴, 田中善大, 松山康成 31

■研究ノート

近畿地方におけるバルイベント実行委員会事務局の担い手に関する一考察

..... 石原 肇 43

近畿大学総合社会学部紀要投稿規程

..... 55

Kindai Applied Sociology Review

Volume 9, No. 2 2021

CONTENTS

■ Articles

- Parts of Speech and the Origins of Onomatopoeic Expressions in English
..... Kanae NISHIMURA 1
- Overused Words in the Essays of English Learners:
The Difference between the Essays with and without Advance Preparation
..... Noriko MATSUDA, Takayuki ISHII, Masahiko IWATA, 17
Mitsuko NISHI, Yoshiko HAMAZAKI, Midori HAYASHI
- The Effect of School-Wide Positive Behavior Support on Teacher Burnout
and Self-efficacy
..... Kanako OTSUI, Kazuki NIWAYAMA, Yoshihiro TANAKA, 31
Yasunari MATSUYAMA

■ Research Note

- A Study on the Leaders of *Baru Ibento* (Bar Event) Executive Committee
Secretariat in the Kinki Region
..... Hajime ISHIHARA 43
- Manuscript submission guidelines of *Kindai Applied Sociology Review*
..... 55

近畿大学総合社会学部紀要投稿規程

紀要の名称

総合社会学部紀要

英文：Kindai Applied Sociology Review

紀要の形態

B5 縦長，左開き横書き，右開き縦書きで，いずれも本文は2段組とする。

この規程は，総合社会学部紀要への投稿に関する取扱事項を定めたものである。

1. 投稿者は，近畿大学総合社会学部専任教員，兼任教員，兼任教員とする。兼任教員は，専任教員を通じて原稿を提出する。
2. 原稿は，総合社会学部の扱う学問領域に鑑みて適正な範囲に収まっていることとし，その内容については，著者が責任を負う。
3. 原稿区分は，原著論文，総説，書評，研究ノート，評論とし，その内容は，下記のとおりとする。

原著論文 (Article)

オリジナリティ（学術的新規性）のある論文で原著論文としての体裁を整えているもの。

総説 (Review)

最近の学術的知見や成果等を骨子として総合的に論述し，オリジナリティのある結論を導き出しているもの。

書評 (Book Review)

国内外の著書等の内容に関する紹介記事で学術的に価値があるもの。

研究ノート (Research Note)

調査報告や実験結果など，論文としては完成されていないが，今後，論文や著書に発展する可能性があるもの。

評論 (Opinion)

学術的な内容を含むが，論文という形式を取らず，随筆，研究史，問題提起など，より自由な形式を持つもの。

4. 紀要委員会（以下「委員会」という）は，投稿原稿の掲載の適否を判断するため，審査を行う。また，委員会は，投稿者に対し原稿内容と原稿区分についての補筆や修正を求めることができる。
5. 紀要委員長は，1，2名の審査委員を委嘱し，投稿原稿の査読を依頼する。査読委員の意見が分かれる場合は，紀要委員長が扱いを決定する。
6. 原稿は原則として未公刊のものに限る。
7. 原稿の長さは原則として，刷り上がり20ページ以内とする。目安としては，日本語論文では30,000字以内，英語論文では10,000語以内とする。
8. 発行は年度中2回（9月と3月）とし，原稿の提出希望締切日と原稿の提出締切日は別途定め，これを厳守する。

9. 原稿の提出は、募集期間中（原稿の締め切り1ヶ月前から締め切り日まで）に、原稿に紀要原稿添付票を付して各専攻の紀要委員宛てに行う。
10. 原稿の受理日は審査委員からの受理日を原稿受理日とする。
11. 執筆者の校正は2回までとする。内容及び図表などの大幅な変更、追加は原則として認めない。
12. 投稿された論文の著作権は近畿大学に帰属し、掲載された論文については冊子体として、またPDFなどの媒体でレポジトリなどに公開されることを投稿者および共著者は承諾する。
13. 別刷りは、論文ごとに30部を無料配布とする。

付則

1. この規程は、平成22年7月26日より施行する。
2. この規程の改正は、平成27年9月14日より施行する。
3. この規程の改正は、令和元年7月17日より施行する。

記述上の注意

1. 原稿は縦書き、横書きのいずれでもよい。
2. 原稿は、文字の大きさを10ポイントとし、ワードファイルで各専攻紀要委員に提出する。
3. 図、表、写真、脚注などは本文データに挿入するか、別データで添付して、挿入位置などの説明を明記する。
4. 原稿中に通常の欧文以外の言語・文字（ハングルなど）を使用する場合はあらかじめ紀要委員に連絡し、印刷に支障のない措置を取る。
5. 図、表、写真を引用する場合、著者自身の責任で著作権の許諾を得ておく。
6. 投稿時には、原稿に紀要原稿添付票を付して提出する。
7. 原稿記述の詳細、引用文献、脚注などについては、それぞれの専攻によって別途定める。

編集後記

2020年度、日本も世界も新型コロナウイルス（COVID-19）のパンデミックに見舞われ、大学における教育も研究も様変わりしました。

授業はオンラインに一齐に切り替わり、その準備に追われました。それで手一杯になってしまい、私自身は研究らしい研究ができませんでした。しかしその間にも、本学部においては、研究が進められ、こうして本紀要に数本の論文が掲載される運びになりました。たいへん喜ばしいことだと思います。

苦しい一年ではありましたが、この経験から生まれてくる研究もあるのだろうと思います。今後本紀要がますます賑わうことを祈念します。

(辻)

執筆者紹介（目次順）

西村香奈絵	近畿大学総合社会学部	准教授（理論言語学（意味論）、英語学）
松田 紀子	近畿大学総合社会学部	講師（応用言語学）
石井 隆之	近畿大学総合社会学部	教授（理論言語学、英語教育）
岩田 雅彦	近畿大学総合社会学部	非常勤講師（公衆衛生学）
西 美都子	近畿大学総合社会学部	非常勤講師（発達教育心理学）
濱崎 佳子	近畿大学総合社会学部	非常勤講師（認知言語学、ビジネスコミュニケーション）
林 美登利	近畿大学総合社会学部	非常勤講師（教育学、言語文化学）
大対香奈子	近畿大学総合社会学部	准教授（応用行動分析学）
庭山 和貴	大阪教育大学	准教授（応用行動分析学）
田中 善大	大阪樟蔭女子大学	准教授（応用行動分析学）
松山 康成	大阪府寝屋川市立西小学校	教諭（教育心理学）
石原 肇	近畿大学総合社会学部	教授（地理学、地域政策）

紀要委員

辻 竜平、遠藤 信貴、今西亜友美、デラ リチャード

近畿大学総合社会学部紀要 第9巻第2号 2021年

2021年3月31日 印刷

2021年3月31日 発行

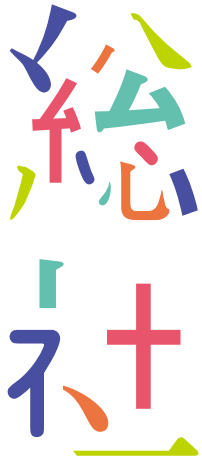
編集・発行 近畿大学総合社会学部

〒577-8502 東大阪市小若江3丁目4番1号

(06) 4307-3062

印刷 近畿大学管理部用度課 (出版印刷)

Kindai Applied Sociology Review



る

Social

近畿大学総合社会学部紀要
Kindai Applied Sociology Review

2021.3

Vol.09 No.02